



奨励賞

壮瞥町



2月上旬から8月中旬まで出荷可能な「オロフレトマト」

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

壮瞥町オロフレ地熱利用野菜組合

【壮瞥町】

温泉熱活用によるクリーン農業と「オロフレトマト」のブランド化

【はじまりは？】

温泉熱を利用した施設野菜の生産を目的に設立し、栽培体系及び栽培管理方法の統一、調整、共選の一元集出荷を図るとともに生鮮野菜の安定供給と省エネルギー化を推進しています。

活火山である有珠山の近くのオロフレ峠の名前からその名がついた「オロフレトマト」は、温泉熱を活用して何か出来ないかという発想のもと、園芸施設内に温泉熱を取り込むことで栽培が始まりました。

【おもな活動】

温泉熱を利用して栽培される「オロフレトマト」は、害虫の少ない冬期間に栽培されるため、通常の栽培と比較して、農薬を減らすことができます。

また、トマトの収穫が終わった後に、緑肥を栽培することで化学肥料の量も減らしており、平成16年には減農薬・減化学肥料栽培の「YES! clean」の認証を受けており、クリーンで安心・安全な栽培に取り組んでいます。



地熱利用しているハウス団地

【ここが自慢】

【再生可能エネルギーによる冬季栽培】

近隣の温泉から約65℃のお湯をハウス内のチューブに引き、チューブ内のお湯からの放熱により、冬季の栽培を可能としています。化石燃料を使わず、温泉熱を利用することによりクリーン農業を通じた農産物のブランド化を図ると同時に、カーボンニュートラルに寄与し環境負荷軽減に取り組んでおります。

また、道内では早い2月上旬からの出荷が可能のため、付加価値向上にもつながっています。



地熱利用しているハウスの内部

連絡先

代表者名：新藤 吉美さん／設立：昭和55年／会員：7名

住所：有珠郡壮瞥町

電話番号：

F A X：

E-mail：

U R L：